

集落の 「暮らし」 と 「祭り」

澁澤 寿一

2022/9/4

人間は、**1人だけ**で**幸せ**になれるのか？

小さな自分が、**社会**を変えられるのか？

社会に関わらず、こっそり**1人**で、
幸せになることは可能か？

アフターコロナでは、**関係性**の再構築が必要

(**人と人**、**人と自然**、**世代と世代**)

自然と共に生きる精神

(農耕の民における、祭りの意味、祈りとは)

日本人の祈り、不思議に思うこと

- 1、日々の感謝と願い事（家内安全・商売繁盛 等）は、どちらも‘祈り’!?
- 2、自分は自然（環境）の一部、それとも自然は相対するもの!?
- 3、自分は八百万の神の一員、それとも神の国は別世界!?
- 4、祈りと瞑想は何処が違うの!?
- 5、神、宇宙、自然、真理、愛、ことわり、の連続性と同質性は!?





雪国の暮らし


山の仕事

家の仕事

田畑の仕事

	雪の季節	雪のない季節
食	<p>豆腐・納豆作り</p> <p>漬物作り</p> <p>味噌作り</p> <p>どぶろく作り</p>	<p>山菜取り</p> <p>きのこ植付</p> <p>きのこ狩り</p> <p>畑</p> <p>漬物作り</p> <p>牛・肥料用の草刈</p> <p>米作り</p>
衣	<p>履物の加工</p> <p>ムシロ・笠製作</p> <p>かご製作</p>	<p>ワラ準備</p> <p>スゲ準備</p> <p>樹皮準備</p>
住	<p>杉伐採</p> <p>炭焼き</p>	<p>杉の下草刈り</p> <p>屋根葺き</p> <p>萱刈り</p>

食の暦

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
田		畦塗り 田起し・代掻き	田植え	一番草	二番草 三番草	ヒエ取り	稲刈り 脱穀 もみすり 精米
畑		大豆・あずき・ささげ					漬物作り
		ジャガイモ					
		ナス・とうもろこし					
			ねぎ・大根				
山		山菜 こごみ・うど・しどけ ぜんまいみず		塩漬け	きのこ トビタケ クリモダシ ナメコ サワモタシ カヌカ		
		山菜 うるい いぬどうな		下草刈り 			

下草刈り



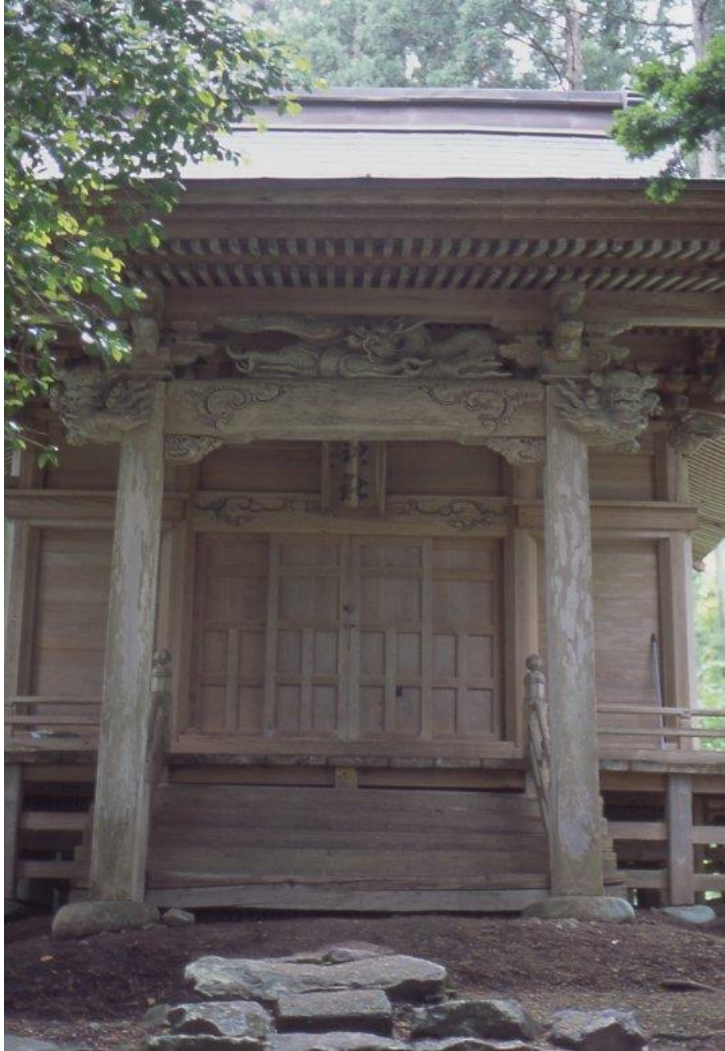
草木塔への感謝

(お爺さんのリアリティー・実在の世界)
おおいなるいのち(神)に重なる心



(お不動さん、庚申さん、馬頭観音、草木塔)





薬師さんの祭り(4月8日)

- ① お社で山神様を迎える神事。顔役と神職、巫女で執り行われる
(祝詞、神楽舞、白餅、お神酒、11時-12時)

- ② 公民館に「山神さん」をお連れする⇒
湯立ての神事(13時-18時)
田んぼの畔の**土**で釜戸、鉄鍋に堰の**水**、薪で**火**をおこす
・神職の祝詞、巫女舞、去年の**稲ワラ**で鍋の湯をまわし、
立ち昇る湯気を、各戸の戸長が吸い込む。
× 70戸(セット) ⇒ **山神**と**人**が一体に

- ③ 直会(村の政治の場、18時-20時過ぎ)

- ④ 翌日から、稲作の開始 ⇒ **農作業が変わると祭りは...**

自然から生まれた農村、農村から生まれた都市

最初に農山村ができた(自給圏、その場所の光合成量を利用)

無理に人を集めてつくられた都市

統治者(権力)の発生→町の形成

農村からのあぶれもの+農村からの徴用+地方の豪族を呼び寄せる

雑役(雇用)の発生+敗残者+身障者→河原者(芸能、庭師..)

計画的な都市の誕生(江戸、武家屋敷68%+寺社16%+商人町16%)

村の成り立ち

条里制の導入時（租税収集、大化の改新645年以後～750年）

おコメが貨幣制度の根幹に→新田開発

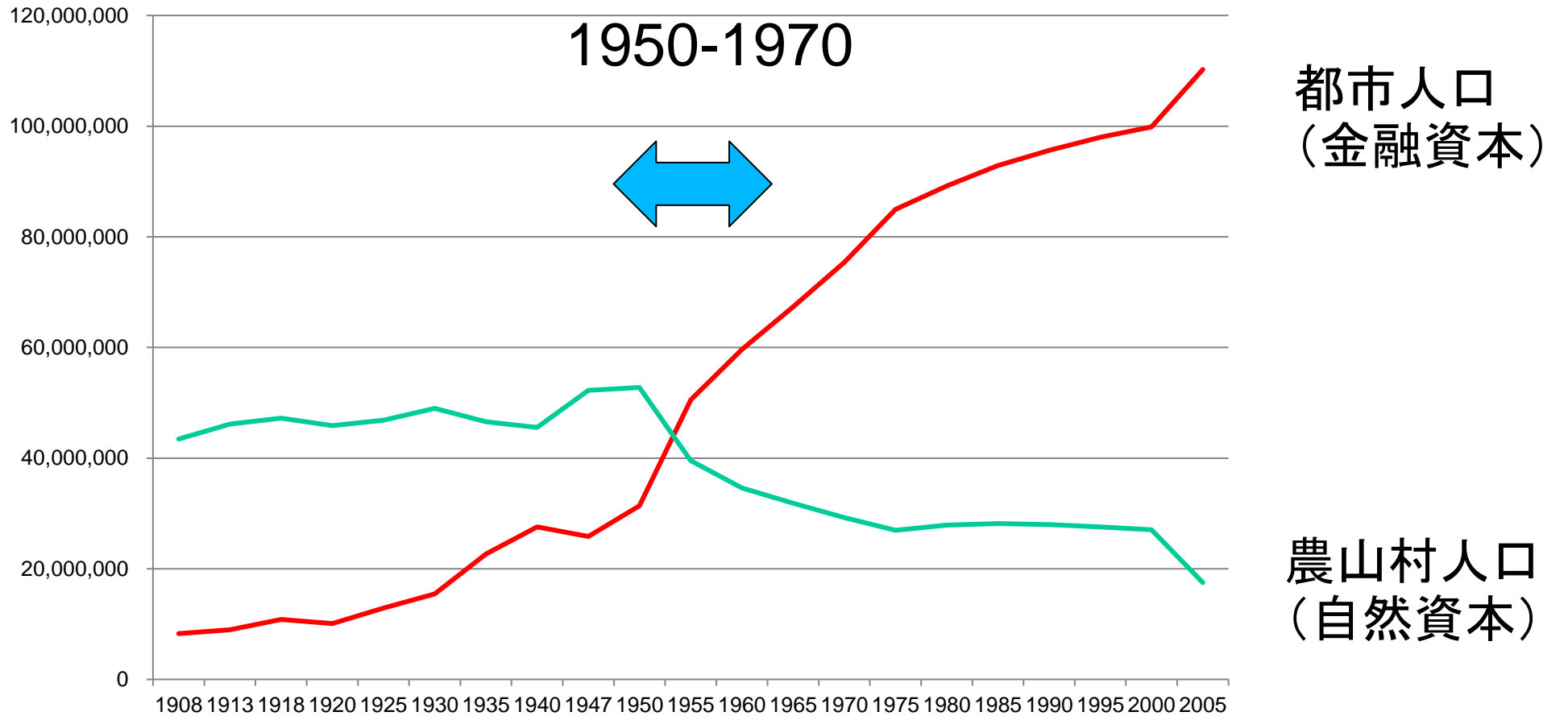
現在の水田の1/4 が、既に1500年前に形成

森の広さが制限要因、田畑の5～8倍の**森**がないと、

持続的に農耕を続けられない。

落ち葉や青草などの**肥料**が確保できない。

都市/農村人口推移 都市化の進展



出展: 名古屋大学高野雅夫教授資料

人は群れて住む

一家族だけで自然の中で暮らせるか !?

(病気、教育、農業用水の確保、田植え、草取り、稲刈り、獣害、
外敵、孤独という闇・・・)

→ **自然は待ってくれない**

人は「他人の声が聞こえるところで暮らす」



撮影 武藤盈
昭和35年（1960）

「農村」の理論とは

明治初年、人口3300万人のうち、3000万人が農民

- ・自然(季節)は待ってくれない！自然の変化から**逃げられない**

(春→初夏→夏→秋→霜→霽→冬→雪)誰の上にも、季節は平等。

皆が、季節に合わせて暮らすのが「**農村**」(生産財は農村に)

- ・暮らしのテンポは村人全員が同じ。**村は同業者の集まり**

共同作業

その土地の自然の中で、生きていこうとした人間の集まりが「**村**」

・村全体の**共同作業**の日数(1950年、年間労働日数**280~300**日)

薪取り、副食づくり、漁や猟、共有地の利用、屋根葺き、道普請などが、
年間**150**日

・労働の交換・**結**の日数

田打ち、田植え、稲刈り、草取り、屋根葺きなどが、年間**50~80**日

⇒ 家族だけの農作業は、殆ど無かった！

・地域生態系からも**逃げられない**・・・

（虫は村中飛び回る ⇒ 1人だけ無農薬はダメ）

（田の水管理 ⇒ 水路は共有、水は上から下に流れる）

・農地を持てば、皆に見られる。コミュニティーからは**逃げられない**。

地域コミュニティーに対し、自然に対し、心を開く、暮らしを開く、**覚悟**が必要。

（ねばり強さ、勤勉さの資質を育む）

農山村の暮らし

「ありがたさ・温かさ・煩わしさ」

- ・人間の**信頼**
- ・助け合い、お互いさま、**絆(きずな)**
- ・住人は家族の延長
- ・強固なコミュニティー
- ・自然と一体な暮らし
(命の臍の緒は**自然・地域**に)
- ・プライバシーより**共同体**(同調圧力)



煩わしいが**温かい**社会

(自然が主、人間が合わせる)

都会の暮らし

「快適さ・冷たさ・無関心」

- ・**個人**の世界(勝ち組、負け組)
- ・行政サービスの完備(お金を払えば)
- ・**システム**への過度の信頼
- ・隣の住人の顔も知らない
- ・自然と暮らしは別の物
(命の臍の緒は**お金**に)
- ・**プライバシー**の尊重



便利だが**冷たい**社会(**無縁社会**)

(人間が主、自然は別のもの)

コミュニティ成立の条件

(持続可能性をもたらす要因)

1. 自然が復元する時間 (33年1サイクル)
2. 自然の量 (栗1ヘクタール=1家族、3俵/年=1人=1反=300m²)
3. 自然の質 (クリ、トチ、雑穀、マメ、山菜、キノコ・・・組み合わせ)
4. 人間の労働 (2000束=1週間、1荷=6束、炎天下の焼畑、
毎日の水管理、休日のない毎日・・・)
5. 知恵と技術 (縄ない、かごづくり、薬草、加工・保存、段取り・・・)
6. 心の置きかた (身体性・生きるための自然、幸せの実感)

歩調を合わせた暮らしから、共同体の崩壊へ

同業者集団だから成り立つ慣習→

稼ぎ（役人、教諭、軍人、出稼ぎ・・・）の発生、太陽暦の導入→

公役の免除、代理出席→金銭授受での解決→

コミュニティー維持が困難に→若者の参画、祭り、隠居などの制度改革

権利の主張 → 離村（人口の減少） → 共同体の崩壊

村八分(葬式と火事以外は付き合いを断つ)

- ・共同体の崩壊を食い止めようとする力⇔法律の普及、権利の主張
- ・八分にされた者
 - ・掟に従わないわがまま者 ・公役を務めないもの
 - ・祝儀不祝儀の付き合いをしない者 ・犯罪者 ・姦通した者
 - ・共有山を勝手に利用した者 ・他人の田畑を荒らす者、
 - ・休みの日に休まない者

幸せとはなにか？

(集落は、人は、どのように考えてきたか)

新潟県
NIIGATA



朝日村遺跡分布図

(現在は村上市朝日地区となっている)

日本海

高根集落



新潟県

山形県

村上市街地

三面川

現在地

奥三面遺跡群



奥三面遺跡群



高根集落



新潟県村上市高根地域

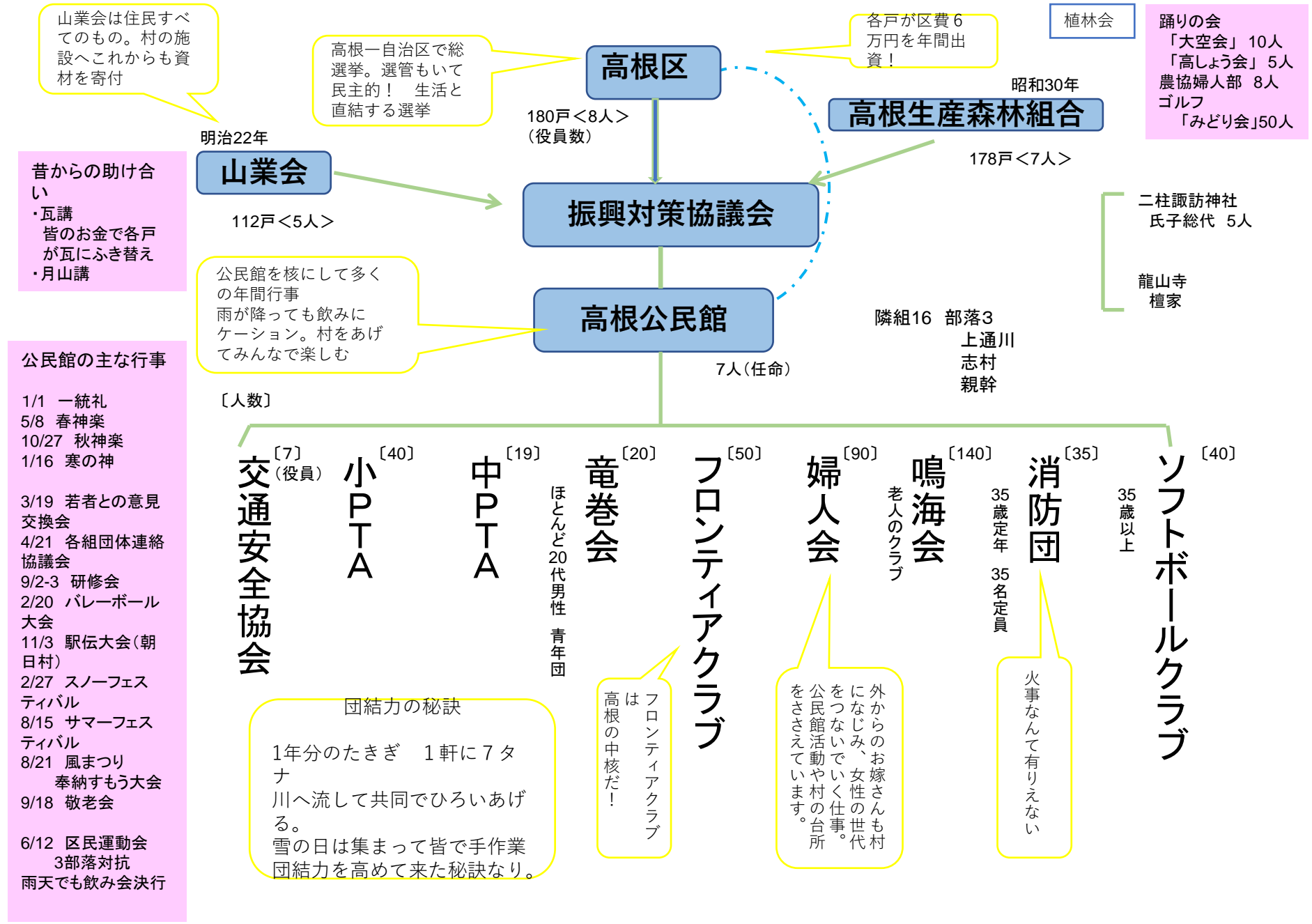
- 地域概要

- 人口約750人
- 戸数170戸(平均5名／家族)
- 世界有数の豪雪地帯
- 豊かな自然の多様性
- 過疎にならない村
- 10,000町歩の共有林、100町歩の棚田
- 強固なコミュニティー

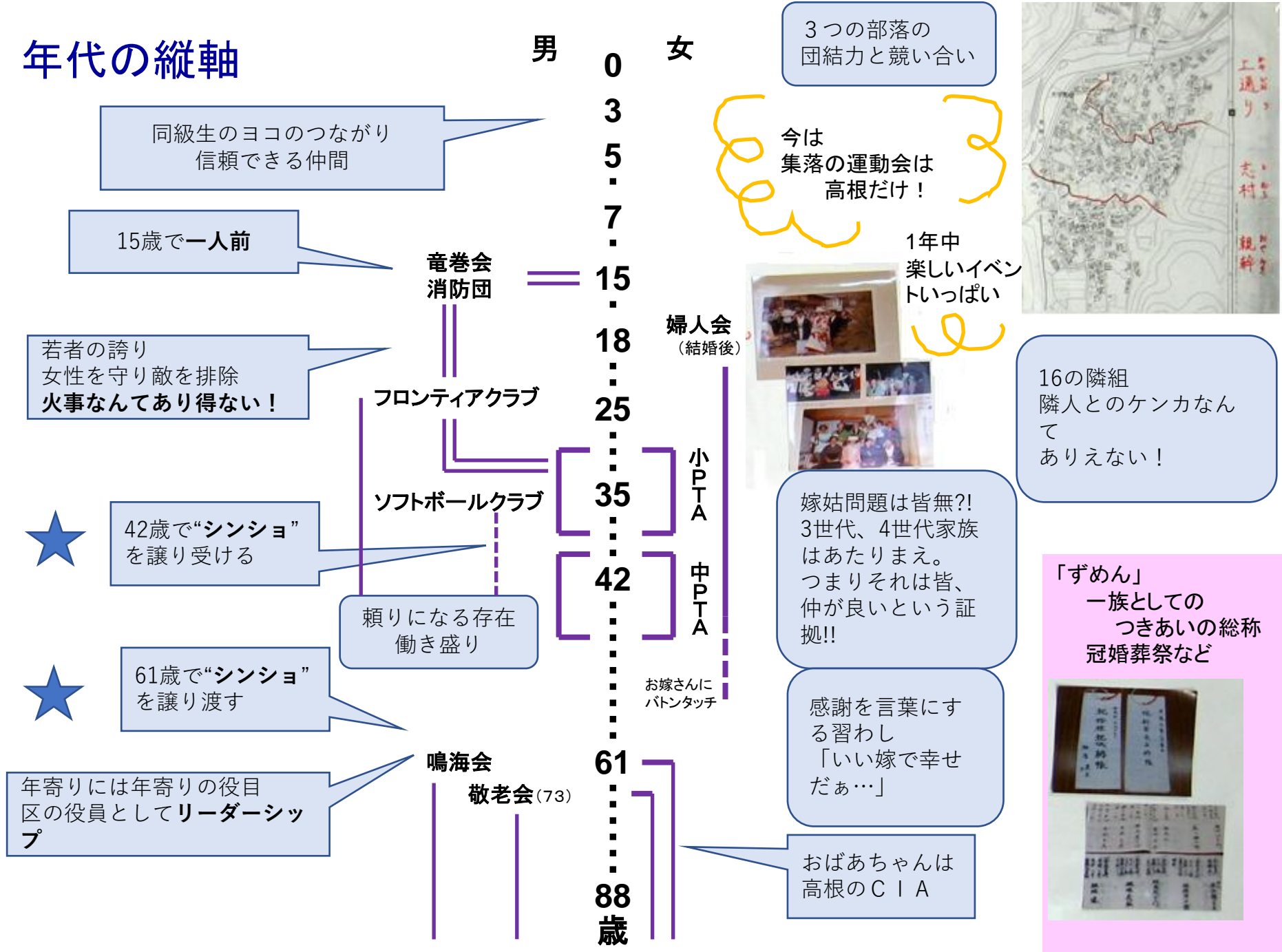




究極の特区！ 2015年日本より独立か!!



年代の縦軸



風の盆の相撲

風の盆・・・お盆行事の1週間後

稲の開花、結実の時期に、
大風(台風)が吹かないことを祈る。



村の男子全員参加の奉納相撲

村人全員参加の直会(なおらい、優勝者が村人全員をもてなす)

風の盆が意味するもの

村(コミュニティ)が結束するための「決まり(掟)」・・・

合理性、経済性、効率性、民主主義、の**外**にある概念

持続可能な社会の概念と言えるのか!?

外にある概念とは・・・人の**関係性の密度**

寄り合い・祭り

行動

思考

認識・言語

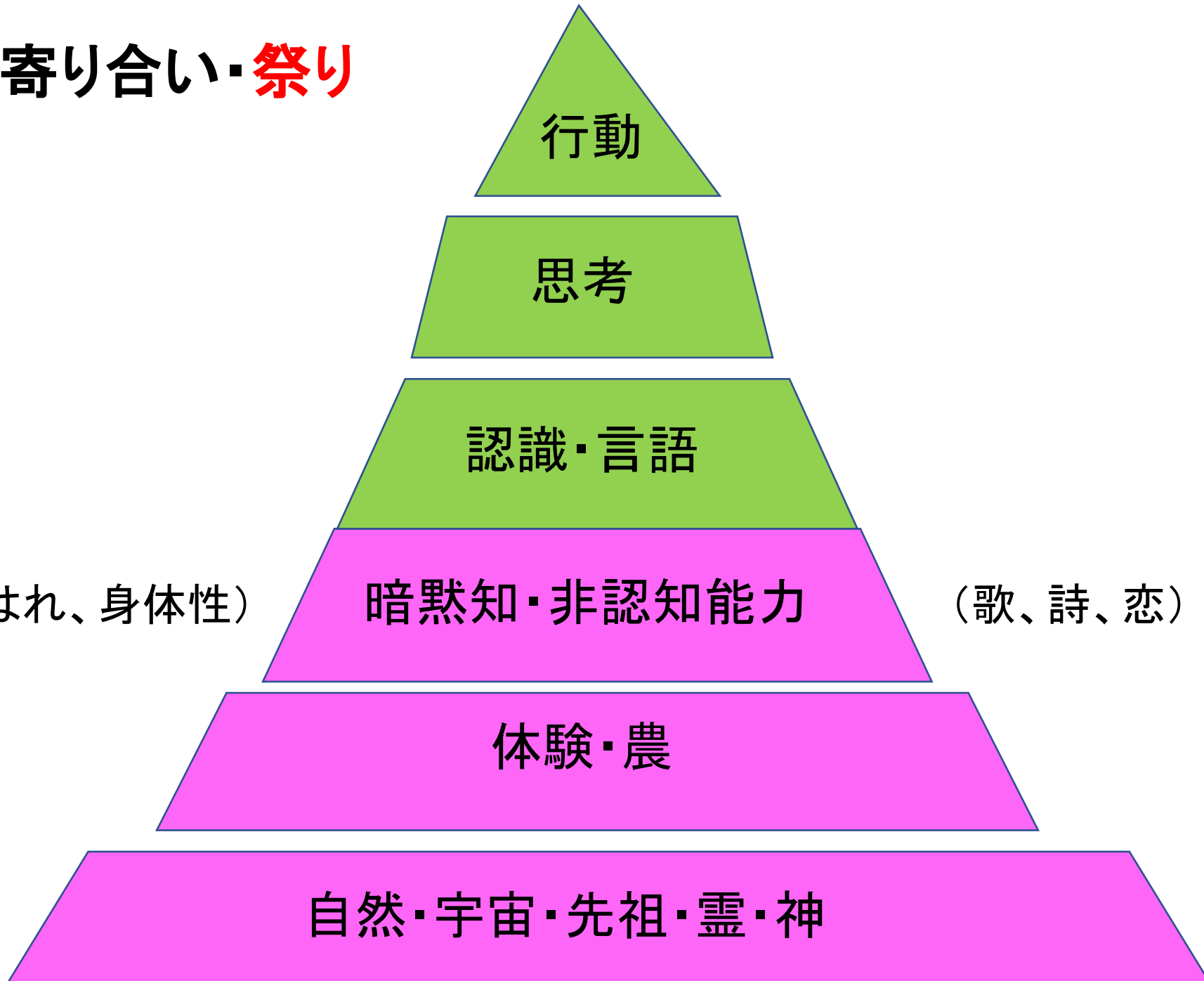
暗黙知・非認知能力

体験・農

自然・宇宙・先祖・霊・神

(もののあはれ、身体性)

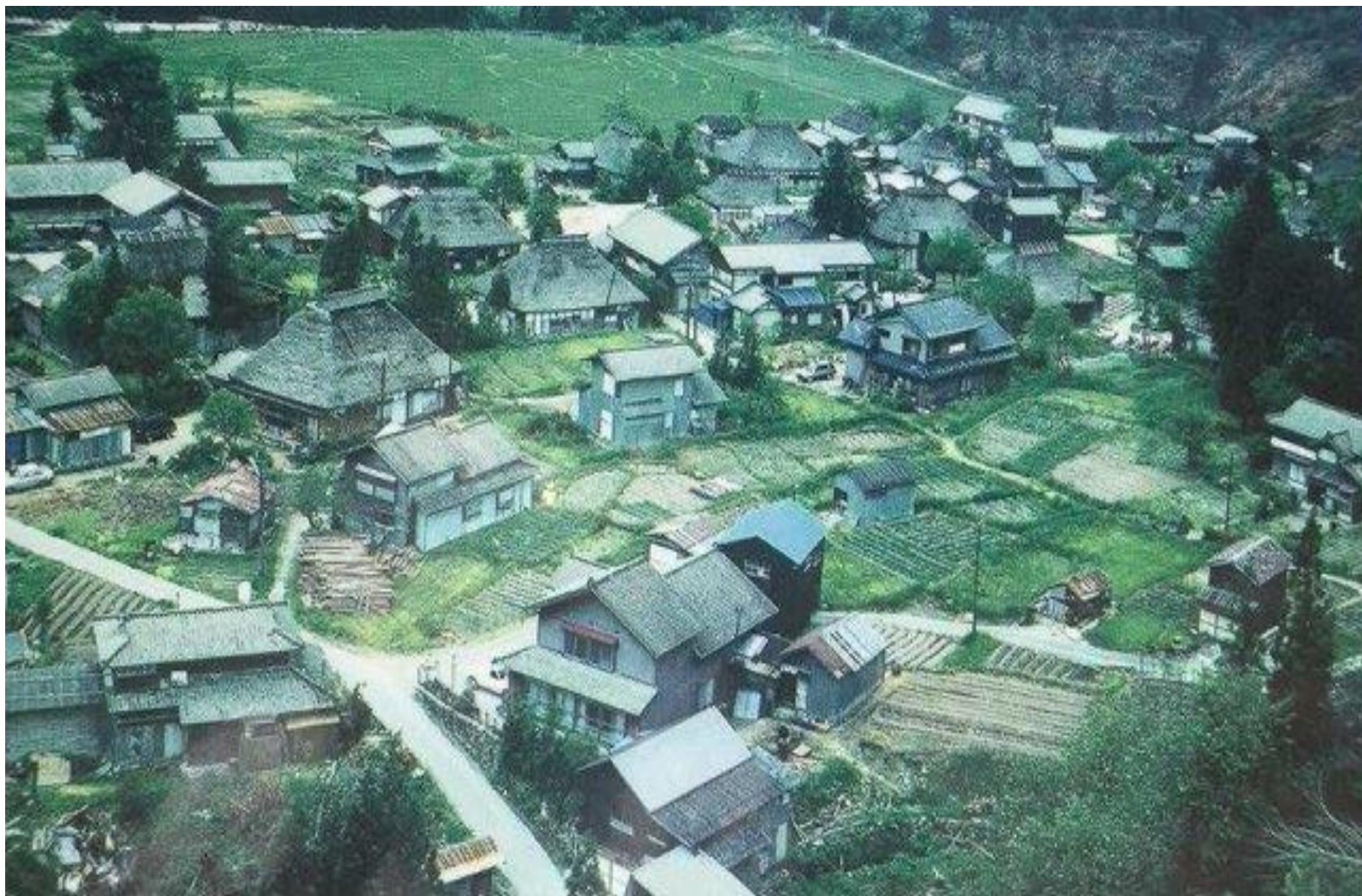
(歌、詩、恋)





新潟県村上市奥三面集落(おくみおもて)







遠景 (西→東)



環状配石 (立石を復元したようす)



遺跡から南方面
(谷の奥は山形県小国町)



遺跡から東方面
(朝日岳方面)



配石
(下から埋薬がまよってみつかりました)



配石

★ …アチャ平 遺跡

5000～3500年前

20戸の竪穴住居群

★ …奥三面集落跡地

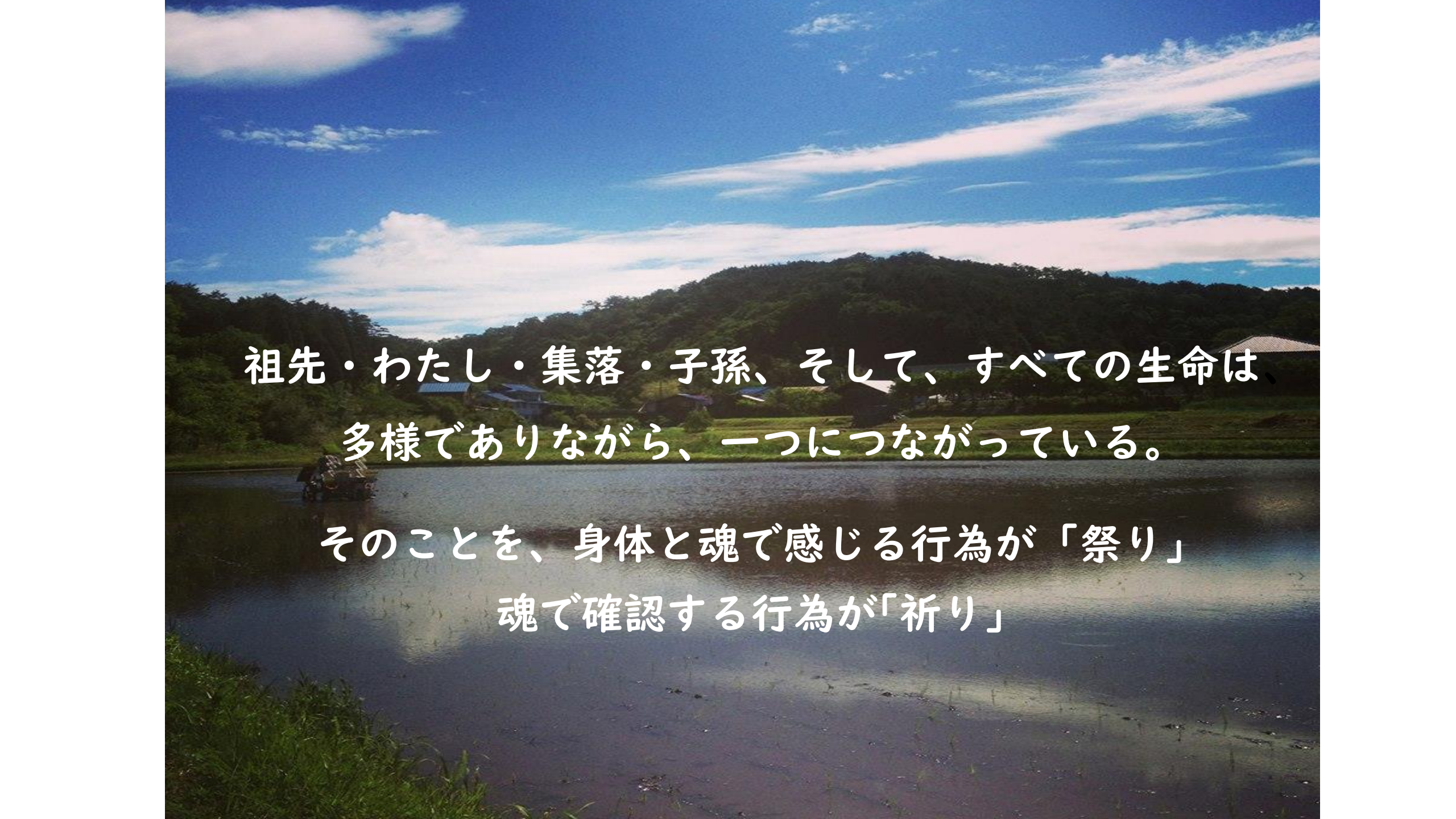






改めて、不思議に思うこと

- 1、日々の感謝と願い事（家内安全・商売繁盛 等）は、
どちらも同じ、‘祈り’!?
- 2、自分は自然（環境）の一部、それとも自然は相対するもの!?
- 3、自分は八百万の神の一員、それとも神の国は別世界!?



祖先・わたし・集落・子孫、そして、すべての生命は
多様でありながら、一つにつながっている。

そのことを、身体と魂で感じる行為が「祭り」
魂で確認する行為が「祈り」